

# 「暖炉&薪ストーブ」で床暖房と給湯の 燃料代は灯油と比べて1/3以下を実証！

暖炉の熱で床暖房から給湯までまかなえる「フレームアート」は、優れた性能で年間の燃料費をなんと2/3も削減できるという。そこで、実際に「フレームアート」を使っている秩父に住む星さんにその使い心地と経済性について聞いてみよう。

Photo/Tomoya-WATANABE (渡邊朋哉) Text/Natsue-ISHIKURA (石倉夏枝)



「フレームアート」を入れたことで、家の中での楽しみ方が増えたという星さん。奥さまは「コーヒーを暖炉で温めるととてもおいしい」そうだ。また子ども達に火の管理を教える上でも、暖炉はとても役立つという。



暖炉の上には直径42センチの羽釜を置くことができる。その上に蒸籠を載せれば、蒸し料理はもちろん、おこわも炊けるのだ。



鹿の肉もこんがり焼き上げる。調理に使った串は「富士プラント・アルコ」のオリジナル。



暖炉の遠赤外線効果で肉や魚もふっくらと香ばしく調理できる。また炎は人の心に安らぎを与え、癒し(セラピー)効果もあるという。



強い火力でたっぷりのお湯を沸かせる「フレームアート」なら、うどんやバスタも短時間でおいしく茹でられる。

## 年間の燃料費を大幅に削減する 家計にやさしい暖炉

豊かな自然に囲まれた秩父。冬場はマイナス10℃にもなるというこの地に、星さんが住むようになって3年が経つ。大きな建物の星邸は、床暖房と給湯用として毎月約600ℓの灯油を使用していた。さらに、薪ストーブも使っていたので、月々の燃料費はかなりの負担に。たまたま給湯の熱源に不具合があったことから「富士プラント・アルコ」に相談したところ、暖炉の熱を利用して家中の床暖房や給湯がまかなえ、しかも低コストを維持できる「フレームアート」を紹介してもらった。

## 今迄の灯油代と薪代が嘘のよう 夜間電力温水器併用でさらに得

灯油1ℓの発熱量は8000キロカロリー。それに対して薪の発熱量は1kgで4000キロカロリーになる。薪2kgで灯油1ℓ分の発熱量に相当する。星さんはこれまでもインターネットを通じて、薪4トンを4万円(10円/kg)で購入していたので、この頃の灯油の平均価格の60円/ℓを考えると1/3のコストで年間の燃料費がまかなえることになる。しかも、夜間

以前使っていた薪ストーブ置き場に「フレームアート」はぴったりと納まって、余計なコストをかけずに交換できた。自然豊かな秩父に暮らすようになり、体調もよくなったと奥さま。吹き抜けのリビングは床暖房の輻射熱でポカポカと暖かい。



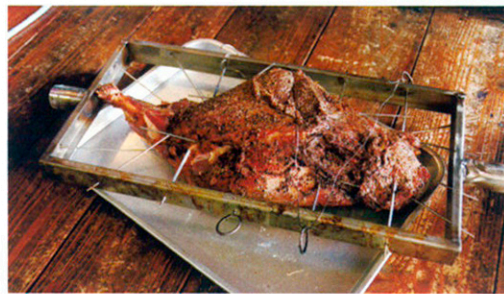
電力を利用する蓄熱式の電気温水器のエネルギーステーション「ES-6000」を組み合わせることで、通常の電気温水器と比べて年間で約5万2000円も安くなるという。それら全てを含めば、年間の燃料費はこれまでの1/3どころか1/4～1/5にもなるというのだ。

夜間は暖炉の火を種火状態にして眠るといふ星さん。暖炉&薪ストーブの「フレームアート」なら震度5弱の地震がきたら自動的に放水消火が行われる安全装置が付いているから安心して眠ることができるのだ。

星さんは「フレームアート」を使ってコストを削減しただけでなく、CO<sub>2</sub>を出さずにクリーンエネルギーを利用する暖炉を使うことで、地球環境にも貢献しているのだ。



この日は星さんの同僚のご家族たちが集まり、暖炉を囲むパーティとなった。おいしい料理の数々に奥さまやお子さまたちもご機嫌。



こんな大きな野生の猪のもも肉の丸焼きも、「フレームアート」だから楽しめる。強火の遠火でじっくりと火を通すことで、旨みはさらに増していく。



## 暖炉は家族の宝物

暖炉を囲んでの家族の団らん  
は貴重な時間。豊かな炎を見て  
いると心が和み、会話が弾む。

## 地震がきても自動消火で安心

今では1日中暖炉に火を入れて楽しむという星さん。「フレームアート」は震度5弱の地震を感知すると自動的に放水を行う「感震時自動消火装置」を完備しており、就寝時の燃焼でも安心して眠ることができる。さらに、手動で消火もできるので、急な外出のときでも便利。放水後の水分は素早く乾燥、その後の着火も容易にできる。



消火開始！  
右上から放水状態がわかる



両サイドから放水し炎を消火！



見事に消火

## 暖炉&薪ストーブの「フレームアート」の お問い合わせは

富士プラント・アルコ株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-7-28

☎03-3372-3150

<http://fujiplant-al-ko.eek.jp>

今、薪ストーブを使っている方に朗報!富士プラント・アルコでは古い暖炉の下取りキャンペーンも実施中!詳しくはホームページをご覧ください。